



～幸せ溢れる3年生になるために～

一年の計は元旦にあり

改めまして、明けましておめでとうございます。卒業まであと40日ほどですが、最後までどうぞよろしく願います。

さて、タイトルの「一年の計は元旦にあり」という言葉、これは7日の始業式で校長先生が話されていた内容です。物事は初めが肝心で、一年の計画や目標は年の初め（元旦）にしっかりと立てるべきだという意味のことわざです。校長先生の話を受け、みなさんも計画や目標は立てられましたか。まだだという人は、ぜひこれを機会に考えてみましょう。

始業式の日、学年集会もしました。先生方一人ひとりが四文字熟語を使って、思いを話しました。改めて、復習をしましょう。

じりりた

自利利他 石伊先生

仏教用語で「自分の幸せを追求すること（自利）」と「他人の幸せを願うこと（利他）」が一体であり、両方を同時に満たすことが理想であるという考え方です。この学年は、人を思いやれる集団です。ぜひ、自分の幸せと他人の幸せを一緒に考えてほしいです。

いふうどうどう

威風堂々 松本先生

威厳があり立派で、自信に満ちて堂々とした様子を表す四文字熟語です。皆さんは、受験生としての風格、自信がありますか。三者面談で、皆さんがしっかりと考えて、受験校を決めたはずです。自信をもって受験に挑んでほしいです。

しんかほっき

真価発揮 安藤先生

「受験だから」「今日は」など特別な日だけでなく、常に頑張れるようにと3年間言い続けてきました。皆さんの真の実力が発揮される時です。まだ自信をもってできないと言えないならば、この40日間でトレーニングをしましょう。

ひやくせつふとう

百折不撓 小久保先生

何度失敗してもくじけず、強い意志を持ち続けることを意味する四文字熟語です。人生には、いつだって多くの試練が立ちはだかるものです。失敗しないことが大切なのではなく、失敗した後にどうするか大切です。

ふげんじっこう

不言実行 吉田先生

言葉で宣言するのではなく、行動そのもので示す姿勢を指す四文字熟語です。不平不満や言い訳をせず、黙々と行動し、実践によって価値や説得力を見せるという意味があります。実行したら続ける、続けたら本物になります。

じぶんじしん

自分自信 田中先生

この1年間言い続けた「ジブンジシン」最終章です。自分自身→自分自進→自分自信です。自分を信じてあげましょう。そのために「自信がない」「できない」などを口に出さない。また、今まで頑張ってきたことを振り返ってください。皆さんはたくさんやってきたはずです。そのことを振り返り、自信につなげましょう。そして、最後大きく羽ばたいていってください。

おまけ 午年なので…

うまくいく

馬九行久

九頭の馬が勢いよく駆け抜ける様子に「万時何事もうまくいく」という意味を込めた縁起の良い語呂合わせです。勝負運、金運、出世運、家庭運、愛情運、健康運、商売繁盛、豊漁豊作、受験合格といった9つの運気を象徴し、幸運を呼び込む伝統的なモチーフとして、扇子や小判、食器などに描かれます。久御山の「久」の字も使われているなんて！皆さんにぴったりの言葉ですね！

保護者の皆さまへ

改めまして、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

いよいよ、受験期に入りました。年末年始には、お忙しい中、私学受験の手続等をしていただき、ありがとうございました。準備がそろっていく中で、お子さんたちの表情も日々受験生らしくなっているなと感じます。お子さんが自信を持って受験に挑めるよう、サポートさせていただきます。どうぞ、最後までよろしく願いいたします。

